# トピックス
まちのわだい

## はつらつと！シニアクラブ連合会運動会開催
福祉グループ☎079（435）2361

9月28日、播磨小学校の体育館で第37回目の運動会が行われました。

播磨町シニアクラブ連合会は、町内の18クラブが加盟して社会奉仕、教養、健康増進などの活動を自主的に取り組んでいます。

当日は、450人の方が参加された中で85歳以上の方は、21人でした。

参加された方々は、大きな声で応援され、時折笑い声が上がるなど、和気あいあいとした雰囲気で楽しまれていました。

## 平成26年度農地パトロールを実施
住民グループ☎079（435）2364

農業委員会では、遊休農地の発生防止および解消状況などを調査するため、毎年農地パトロールを実施しています。

今年は9月24日に状況調査を行いました。10～11月も引き続き調査を行います。これからの季節は、火災の発生など周囲の環境に支障が生じる恐れがありますので、良好な管理に努めていただきますようお願いします。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 子ども警察官による交通安全啓発活動
危機管理グループ☎079（435）0991

9月24日午前7時30分から、播磨南小学校1年生10人が子ども警察官として山陽電車播磨町駅に集合しました。子どもたちは、秋の全国交通安全運動の一環として、通勤・通学などで駅を利用する人に「交通安全に協力してください」と元気な声をかけて交通安全啓発活動を行いました。

播磨町長及び加古川警察署員並びに白バイ隊員に、交通安全協会の方々にご参加いただき、多くの人に交通安全を呼びかけました。

## わんぱくはりまっこ

八木 優奈・美優・和奏ちゃん
（北本荘）

3人娘、仲良く大きくなってね！！
（父・母より）



## ジョセフ・ヒコ 新聞発行150周年記念切手シートを発売
郷土資料館☎079（435）5000

播磨町古宮に生まれたジョセフ・ヒコ（1837～97年）が、民間邦字（日本語）新聞を発行して150周年を迎えたのを記念し、郷土資料館と日本郵便近畿支社が共同でオリジナルフレーム切手を発行しました。発売前日の9月24日、役場で西明石駅郵便局の神足局長から清水町長と郷土資料館の宮柳館長に切手シートが贈呈されました。

フレーム切手は、リンカーン大統領に会ったころのヒコや自筆のサイン、海外新聞などがデザインされ、1部1,080円で限定1,000部販売。

▲贈呈式にて
（左から宮柳館長、清水町長、神足局長）

▲東播磨の各郵便局で購入できます

## 播磨町駅地下自由通路にエレベーターが設置されました
土木グループ☎079（435）2365

山陽電車播磨町駅の改札と地上を結ぶ通路に、エレベーターが設置され、9月29日から利用できるようになりました。

今後、役場側駅前広場の段差をなくす工事が行われますが、工事中もエレベーターを利用できるように、できる限りの配慮をします。今しばらくのご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

### 楽屋裏

今月の広報はりまの表紙写真は、都市計画グループが夏に募集した「播磨町のいいとこ写真」に応募された作品です。すべてを掲載することはできませんでしたが、どの作品も「播磨町のいいとこ」を再発見する景色ばかりです。写真展には、広報はりまで紹介しきれなかった写真も展示されますので、ぜひ足を運んでみてください。

また、知る人ぞ知る「播磨町のいいとこ」がありましたら、広報担当まで教えてください。住民の皆さんと一緒にもっと播磨町のことを知りたいと思います。

近いところでは、11月1日の大中遺跡まつりで会場をウロウロしますので、声をかけてくださいね。（宮）

# いいね！はりま
町政レポート No.93

▲弁論大会での発表を町長室で披露する
大西さん（左）鎌苅さん（中）、古河さん（右）

台風が過ぎ去ったあとの空は、限りなく澄み渡った青空。まさに秋晴れ。学校園の運動会も終わり、いよいよ本格的な秋の訪れです。

◆行楽のシーズン。紅葉の山野に出向かれる健脚の方も多いと思いますが、木曽の御嶽山では突然の噴火で、多くの方々が犠牲となられました。その中にお一人、播磨町の方もいらっしゃいました。思いがけない自然災害で、ご家族とのお幸せな日々が一瞬にして失われることとなってしまいました。ご遺族の悲しみは、如何ばかりかと…。あらためて大自然の脅威を感じますとともに、犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げます。

◆ジョセフ・ヒコが、日本で初めて新聞を発行してから150年。今、播磨町の郷土資料館では、町が入手した貴重な新聞資料を展示した特別展が開かれ、記念切手シートも発売されています。また、県立考古博物館でも「鉄道が来た」というテーマで特別展を開催、別府鉄道など県内の鉄道の歴史を紹介しています。別府鉄道は私たちの子どもの頃には土山から別府まで走っていて、海水浴や潮干狩りのシーズンにはよく利用したものです。昭和59年に廃線になり、平成元年に播磨町が緑道「であいの道」として、平成24年には県がミュージアムロードとして整備しました。鉄道ファン必見です。

◆東播磨青少年本部主催の弁論大会「平成26年度少年の主張東播磨大会」に播磨町から3人の中学生が参加しました。播磨南中学校の古河美沙さんは過去の戦争やいじめを題材として「いのち」の大切さを、播磨中学校の大西ひかりさんはリサイクル活動を通じて得た弱者への思いを。播磨南中学校の鎌苅彩音さんは「この町で」という題名でまちの人々から受けたやさしさや、地域の温かいふれあいについて述べています。どれもが知性あふれる珠玉の作品です。感動をありがとう。

播磨町長　清水ひろ子